聖書の絶対的な真理

イエスは彼に言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことはできない。」ヨハネによる福音書 14:6
死に至るまで真理のために戦え。そうすれば主があなたのために戦ってくださる。（シラ書 4:28）

モーセ五書

そして彼は言った、「私の主人アブラハムの神、主は祝福されますように。主は私の主人を慈しみと真実をもって見捨てられませんでした。私が旅の途中、主は私を主人の兄弟たちの家に導いてくださいました。」 創世記 24:27

私は、あなたがしもべに示してくださったあらゆる慈しみと真実のほんのわずかなものにも値しません。私は杖を持ってこのヨルダン川を渡り、今や二つの群れのようになっています。 創世記 32:10

あなた方のうちの一人を遣わして、兄弟を連れてこさせなさい。あなた方は牢獄に入れられ、あなた方の言葉に真実があるかどうかが試されるであろう。さもなければ、ファラオの命にかけて、あなた方は間違いなくスパイである。 創世記 42:16

また、あなたは民の中から、神を畏れ、真実を語り、貪欲を憎む有能な人々を選び出し、彼らを千人隊長、百人隊長、五十人隊長、十人隊長として彼らの上に立てなさい。 出エジプト記 18:21

主は彼の前を通り過ぎて宣言された。「主、主なる神は、あわれみ深く、恵み深く、忍耐強く、慈しみと真実に満ちておられる。 出エジプト記 34:6

そのとき、あなたは尋ね、調べ、熱心に尋ねなさい。そして、もしそれが真実であり、あなたがたの間でそのような忌まわしいことが行われていることが確かなことならば、 申命記 13:14

彼は岩であり、その御業は完全である。そのすべての道は正義である。真実の神であり、不正のない方、正しく正しい方である。 申命記 32:4

歴史

それゆえ、今こそ主を畏れ、誠実と真実をもって主に仕えよ。あなたがたの先祖が川の向こう側やエジプトで仕えていた神々を捨て、主に仕えよ。 ヨシュア記 24:14

すると、いばらは木々に言った。「もし本当にあなたがたが私を王として油注ぎするなら、来て私の陰に身を寄せなさい。そうでないなら、いばらから火が出て、レバノンの杉を焼き尽くしなさい。」 士師記 9:15

ただ主を畏れ、心を尽くして真実に主に仕えなさい。主があなたのためにどれほど偉大なことをしてくださったかをよく考えなさい。 サムエル記上 12:24

ダビデは祭司に答えて言った、「確かに、私がここを出てからこの三日間ほど、女たちは私たちから遠ざけられており、若者たちの器は聖なるものであり、パンは、たとえ今日器の中で聖別されたとしても、普段は普通のパンです。」 サムエル記上 21:5

今、主はあなた方に慈しみと真実を示された。あなた方がこのことを行ったので、わたしもまたあなた方にこの慈しみに報いる。 サムエル記下 2:6

昨日来たばかりのあなたを、今日まで私たちと一緒にあちこち連れ回すべきだろうか? 私はどこへでも行けるのだから、帰って兄弟たちを連れて帰りなさい。慈しみと真実があなたと共にありますように。 サムエル記下 15:20

主が私について語られた御言葉を成就されるためです。すなわち、「もしあなたの子らが自分の道に注意を払い、心を尽くし、魂を尽くして、真実をもって私の前に歩むならば、イスラエルの王座に座る人があなたから離れることはない」と主は言われたのです。 列王記上 2:4

ソロモンは言った。「あなたは、あなたのしもべである私の父ダビデに、真実と正義と心の誠実さをもってあなたの御前に歩んだので、大きな慈しみを示してくださいました。そして、あなたは彼にこの大きな恵みを留め、今日のように、彼の王座に座る息子を与えてくださいました。」 列王記上 3:6

すると女はエリヤに言った。「これで、あなたが神の人であり、あなたの口から出る主の言葉が真実であることが分かりました。」 列王記上 17:24

主よ、確かにアッシリアの王たちは諸国とその地を滅ぼし、 列王記下 19:17

主よ、どうか今、私が真実をもって、そして完全な心であなたの御前に歩み、あなたの御目にかなう善いことを行ってきたことを思い出してください。ヒゼキヤは激しく泣いた。列王記下 20:3

そこでヒゼキヤはイザヤに言った。「あなたが語った主の言葉は良いものです。」そして彼は言った。「私の時代に平和と真実があるのは良いことではないでしょうか。」 列王記下 20:19

王は彼に言った、「主の名において、私に真実以外何も言わないようにと、何度あなたに命じればよいのか？」 歴代誌下 18:15

こうしてヒゼキヤはユダ全土で行い、主なる神の御前で善く、正しく、真実なことを成し遂げた。 歴代誌下 31:20

そして彼は、平和と真実の言葉とともに、アハシュエロス王国の百二十七の州に住むすべてのユダヤ人に手紙を送った。 エステル記 9:30

詩

それが真実であることは分かっています。しかし、人間はどのようにして神に対して正しくあることができるのでしょうか？ ヨブ記 9:2

正しく歩み、正義を行い、心の中で真実を語る者。 詩篇 15:2

あなたの真理によって私を導き、私を教えてください。あなたは私の救いの神です。私は一日中あなたを待ち望んでいます。 主の道はすべて、主の契約と証しを守る者にとって、慈しみと真実である。 詩篇 25: 5、10

あなたの慈しみは私の目の前にあり、私はあなたの真理の中を歩んできました。 詩篇 26:3

私が死の淵に落ちる時、私の血に何の益があるだろうか？ 塵はあなたを讃えるだろうか？ あなたの真実を告げ知らせるだろうか？ 詩篇 30:9

わたしはわたしの霊を御手にゆだねます。真理の主なる神よ、あなたはわたしを贖ってくださいました。 詩篇 31:5

主の言葉は正しく、その御業はすべて真実に基づいて行われる。 詩篇 33:4

わたしはあなたの義を心の中に隠さず、あなたの真実と救いを告げ知らせました。わたしはあなたの慈しみと真実を大いなる会衆から隠さずに伝えました。 主よ、どうか私からあなたの慈しみ深い憐れみを差し控えないでください。あなたの慈しみと真実が、絶えず私を守りますように。 詩篇 40: 10-11

おお、あなたの光と真理を遣わしてください。それらが私を導き、あなたの聖なる山とあなたの幕屋へと連れて行ってください。 詩篇 43:3

そして、真実と柔和と正義のゆえに、あなたの威厳をもって繁栄して進みなさい。そして、あなたの右の手はあなたに恐るべきことを教えるであろう。 詩篇 45:4

見よ、あなたは心の奥底に真理を求め、隠された部分において私に知恵を悟らせてくださる。 詩篇 51:6

彼は私の敵に悪をもって報いるであろう。あなたの真実によって彼らを滅ぼしてください。 詩篇 54:5

神は天から遣わし、私を滅ぼそうとする者の非難から私を救ってくださる。セラ。神は慈しみと真実を遣わしてくださる。 あなたの慈しみは天にまで及び、あなたの真実は雲にまで及ぶ。 詩篇 57: 3、10

あなたは、あなたを畏れる者たちに旗を与え、真理のゆえにそれを掲げさせた。セラ。 詩篇 60:4

彼は永遠に神の御前にとどまるであろう。どうか、彼を守るための慈しみと真実を備えてください。 詩篇 61:7

しかし、主よ、私の祈りはあなたに、恵みの時に捧げられます。神よ、あなたの豊かな慈しみによって、あなたの救いの真実によって、私の祈りを聞き入れてください。 詩篇 69:13

わが神よ、わたしは琴であなたを賛美します。あなたの真実を。イスラエルの聖なる方よ、わたしは竪琴であなたに歌います。 詩篇 71:22

慈悲と真実は出会い、正義と平和は口づけを交わした。 真理は地から芽生え、正義は天から見下ろすであろう。 詩篇 85: 10-11

主よ、あなたの道を私に教えてください。私はあなたの真理の中を歩みます。私の心を一つにして、あなたの御名を畏れ敬うようにしてください。 しかし、主よ、あなたは憐れみ深く、恵み深く、忍耐強く、慈しみと真実に満ちた神です。 詩篇 86 :11、15

正義と裁きはあなたの玉座の住まいであり、慈悲と真実はあなたの御前に進むであろう。 主よ、あなたが真実をもってダビデに誓われた、かつての慈しみはどこにあるのですか。 詩篇 89 :14、49

彼はその羽であなたを覆い、あなたは彼の翼の下に身を寄せるであろう。彼の真実はあなたの盾となり、あなたの防具となるであろう。 詩篇 91:4

主の御前で。主は来られる。地を裁くために来られる。主は義をもって世界を裁き、真実をもって民を裁かれる。 詩篇 96:13

主はイスラエルの家に対する慈しみと真実を覚えておられた。地の果てまでもが、我らの神の救いを見た。 詩篇 98:3

主は善い方であり、その慈しみはとこしえに続き、その真実は代々にわたって続く。 詩篇 100:5

あなたの慈しみは天よりも大きく、あなたの真実は雲にまで届く。 詩篇 108:4

それらは永遠に堅く立ち、真実と正義に基づいて行われる。 詩篇 111:8

主よ、私たちにではなく、私たちにではなく、あなたの御名に栄光を与えてください。あなたの慈しみと真実のゆえに。 詩篇 115:1

主の慈しみは私たちに対して限りなく大きく、主の真実は永遠に続く。主をほめたたえよ。 詩篇 117:2

私は真理の道を選びました。あなたの裁きを私の前に示しました。 どうか、私の口から真実の言葉を全く取り除かないでください。私はあなたの裁きに望みを置いているのですから。 あなたの義は永遠の義であり、あなたの律法は真理です。 主よ、あなたは近くにおられ、あなたのすべての戒めは真実です。 詩篇 119: 30、43、142、151

主はダビデに真実を誓われた。主はそれを覆されることはない。「わたしはあなたの身から生まれた子をあなたの王座に座らせる。」 詩篇 132:11

わたしはあなたの聖なる神殿に向かって礼拝し、あなたの慈しみと真実のゆえに、あなたの御名を讃えます。あなたは御名よりも御言葉を高く掲げられたからです。 詩篇 138:2

主は、主を呼び求めるすべての人、真実に主を呼び求めるすべての人に近くおられる。 詩篇 145:18

天と地と海と、その中に存在するすべてのものを創造された方。永遠に真理を守られる方。詩篇 146:6

慈悲と真実があなたを見捨てないように。それらをあなたの首に結びつけ、あなたの心の板に書き記しなさい。 箴言 3:3

私の口は真実を語る。私の唇にとって、悪は忌まわしいものだ。 箴言 8:7

真実を語る者は正義を示す。しかし、偽証人は欺瞞を示す。 真実を語る唇は永遠に存続するが、偽りの舌はほんの一瞬に過ぎない。 箴言 12: 17、19

悪事を企む者は過ちを犯しているのではないか。しかし、善事を企む者には慈悲と真実が与えられる。 箴言 14:22

慈しみと真実によって不正は清められ、主を畏れることによって人は悪から離れる。 箴言 16:6

慈悲と真実が王を守り、慈悲によって王座が支えられる。 箴言 20:28

わたしがあなたに真実の言葉の確実さを知らせ、あなたがあなたに遣わす者たちに真実の言葉で答えることができるようにするためか。 箴言 22:21

真理を買い求め、それを売ってはならない。知恵、教訓、理解も同様である。 箴言 23:23

説教者は受け入れられる言葉を探し求めた。そして、書かれた言葉は正しく、真実の言葉であった。 伝道の書 12:10

預言

万軍の主は私の耳にこう言われた。「まことに、多くの家々、大きくて立派な家々も、住む者のいない荒れ果てた家々となるであろう。」 イザヤ書 5:9

その日には、イスラエルの残りの者、ヤコブの家から逃れた者たちは、もはや自分たちを打った者に頼ることはなく、イスラエルの聖なる主を真に頼るようになるであろう。 イザヤ書 10:20

そして慈しみによって王座は確立され、彼はダビデの幕屋で真実にその座に着き、裁きを行い、裁きを求め、義を速やかに実現するであろう。 イザヤ書 16:5

主よ、あなたは私の神です。私はあなたをあがめ、あなたの御名をほめたたえます。あなたは驚くべきことをなさったからです。あなたの昔からの計画は、真実と誠実です。 イザヤ書 25:1

門を開けよ。真理を守る義なる民が入ることができるように。 イザヤ書 26:2

主よ、確かにアッシリアの王たちはすべての国々とその国々を荒廃させ、 イザヤ書 37:18

そしてヒゼキヤは言った。「主よ、どうか今、私が真実をもって、そして完全な心であなたの御前に歩み、あなたの御目にかなう善いことを行ってきたことを思い出してください。」するとヒゼキヤは激しく泣いた。 墓はあなたを讃えることはできず、死はあなたを称えることはできない。穴に下る者は、あなたの真理を望むことはできない。 生きている者、生きている者は、私が今日あなたを賛美するように、あなたを賛美するであろう。父は子らにあなたの真理を告げ知らせるであろう。 イザヤ書 38: 3、18-19

そこでヒゼキヤはイザヤに言った。「あなたが語った主の言葉は良いものです。」そして彼はさらに言った。「私の時代には平和と真実があるでしょう。」 イザヤ書 39:8

彼は傷ついた葦を折らず、くすぶる灯芯を消さない。彼は真実に基づいて裁きを下す。 イザヤ書 42:3

すべての国々が集まり、民が集まろう。彼らのうち誰がこれを宣言し、過去の出来事を私たちに示せるだろうか。彼らは自分たちの証人を連れてきて、自分たちの正しさを証明させよう。あるいは、彼らは聞いて、「これは真実だ」と言おう。 イザヤ書 43:9

ヤコブの家よ、イスラエルの名で呼ばれ、ユダの水から出てきた者たちよ、主の名で誓い、イスラエルの神を語る者たちよ、これを聞きなさい。しかし、それは真実でも正義でもない。 イザヤ書 48:1

正義を求める者も、真実を訴える者もいない。彼らは虚栄に頼り、偽りを語り、悪事を企み、不正を生み出す。 裁きは後ろに退き、正義は遠く離れて立っている。真実は路上に倒

れ、公平は入り込むことができない。 まことに、真理は失われ、悪から離れる者は自らを獲物にする。主はこれを見て、裁きがないことを不快に思われた。 イザヤ書 59: 4、14-15

わたし、主は正義を愛し、燔祭のための強奪を憎む。わたしは彼らの行いを真実に導き、彼らと永遠の契約を結ぶ。 イザヤ書 61:8

地上で自分を祝福する者は、真実の神によって自分を祝福し、地上で誓う者は、真実の神によって誓うであろう。なぜなら、以前の苦難は忘れ去られ、私の目から隠されたからである。 イザヤ書 65:16

あなたは、「主は生きておられる」と真実と正義と義をもって誓わなければならない。諸国の民は主にあって祝福し、主にあって誇りとするであろう。 エレミヤ書 4:2

エルサレムの街路を駆け回り、よく見て、よく知り、広い場所で、もし正義を行い、真理を求める人がいるなら、その人を探し求めなさい。そうすれば、わたしはそれを赦そう。主よ、あなたの目は真理を見ていないのですか。あなたは彼らを打たれたのに、彼らは悲しまず、あなたは彼らを滅ぼされたのに、彼らは懲らしめを受け入れようとせず、顔を岩のように固くして、立ち返ろうとしませんでした。 エレミヤ書 5: 1、3

しかし、あなたは彼らにこう言いなさい。「これは、彼らの神、主の声に従わず、懲らしめを受け入れない民である。真理は滅び、彼らの口から断たれてしまった。」 エレミヤ書 7:28

彼らは嘘をつくために、弓のように舌を曲げる。しかし、彼らは地上で真理のために勇敢ではない。彼らは悪から悪へと進み、わたしを知らない、と主は言われる。 そして彼らは互いに隣人を欺き、真実を語らない。彼らは舌に嘘をつくことを教え、悪事を働くことに疲れ果てる。 エレミヤ書 9: 3、5

しかし、あなたがたはよく知っておきなさい。もしあなたがたがわたしを殺すならば、あなたがた自身とこの町とそこに住む人々に、必ず罪のない者の血を流させることになる。まことに、主はわたしをあなたがたのもとに遣わし、これらの言葉をすべてあなたがたの耳に伝えるようにされたのだ。 エレミヤ書 26:15

見よ、わたしは彼らに健康と癒しをもたらし、彼らを癒し、彼らに豊かな平和と真理を現すであろう。 エレミヤ書 33:6

王はダニエルに答えて言った。「確かに、あなたの神は神々の神、王たちの主であり、秘密を明らかにする方である。あなたがこの秘密を明らかにすることができたのだから。」 ダニエル書 2:47

今、私ネブカドネザルは天の王を賛美し、称え、敬う。その御業はすべて真実であり、その道は正義である。高慢に歩む者を、主は低くすることができる。 ダニエル書 4:37

私はそばに立っていた一人に近づき、これらのことの真相を尋ねた。すると彼は私に真実を語り、これらの事柄の意味を教えてくれた。 それから私は、他のすべての獣とは異なり、

非常に恐ろしい第四の獣の真実を知りたいと思った。その獣の歯は鉄で、爪は真鍮でできており、むさぼり食い、粉々に砕き、残りを足で踏みにじった。 ダニエル書 7: 16、19

そして、罪を犯したゆえに、彼には日々のいけにえに対抗する軍勢が与えられ、真理を地に投げ捨てた。そして、それは実行され、繁栄した。 ダニエル書 8:12

モーセの律法に記されているとおり、このような災いが私たちに降りかかりました。しかし、私たちは主なる私たちの神の前で祈りを捧げず、罪から立ち返り、あなたの真理を悟ろうとしませんでした。 ダニエル書 9:13

しかし、わたしは真理の聖書に記されていることをあなたに示そう。そして、これらのことにおいてわたしに賛同する者は、あなたの君であるミカエル以外にはいない。 ダニエル書 10:21

さあ、今、あなたに真実を告げよう。見よ、ペルシャにさらに三人の王が立ち上がる。そして四人目の王は彼らすべてよりもはるかに裕福になる。彼はその富と力によって、ギリシャ王国に対してすべての人々を扇動するだろう。 ダニエル書 11:2

イスラエルの子らよ、主の言葉を聞け。主は地の住民と争っておられる。なぜなら、この地には真実も、慈しみも、神を知る知識もないからである。 ホセア書 4:1

あなたはヤコブに真実を、アブラハムに慈悲を示されるでしょう。それは、あなたが昔から私たちの先祖たちに誓われたことです。 ミカ書 7:20

主はこう仰せられる。「わたしはシオンに帰り、エルサレムの中に住む。エルサレムは真実の都と呼ばれ、万軍の主の山は聖なる山と呼ばれる。」 わたしは彼らをエルサレムに連れて行き、彼らはエルサレムの真ん中に住むであろう。彼らはわたしの民となり、わたしは真実と正義をもって彼らの神となるであろう。 あなたがたは、次のことを行うべきである。すべての人は隣人に対して真実を語り、あなたがたの町の門において真実と平和の裁きを執行しなさい。 万軍の主はこう仰せられる。「第四の月の断食、第五の月の断食、第七の月の断食、第十の月の断食は、ユダの家にとって喜びと歓喜、楽しい祭りとなる。それゆえ、真実と平和を愛しなさい。」 ゼカリヤ書 8: 3、8、16、19

彼の口には真理の律法があり、その唇には不正はなかった。彼は私と共に平和と正義のうちに歩み、多くの人を不正から立ち返らせた。 マラキ書 2:6

福音書と使徒言行録

すると、船の中にいた者たちが来て彼を拝み、「あなたはまことに神の子です」と言った。マタイによる福音書 14:33

彼女は言った。「主よ、そのとおりです。しかし、犬は主人の食卓から落ちるパンくずを食べるのです。」 マタイによる福音書 15:27

そして彼らは弟子たちをヘロデ党員たちと共にイエスのもとに遣わし、こう言わせた。「先生、私たちはあなたが真実な方であり、神の道を真に教え、また、人を気にかけず、人の顔を顧みない方であることを知っています。」 マタイによる福音書 22:16

しかし、その女は恐れおののき、自分の身に起こったことを悟り、イエスの前にひれ伏して、すべての真実を話した。 マルコによる福音書 5:33

彼らがやって来て、イエスに言った。「先生、私たちはあなたが真実な方であり、だれをも気にかけない方であることを知っています。あなたは人の顔を顧みず、神の道を真実に教えておられます。カエサルに税金を納めるのは正しいことでしょうか、それとも正しくないことでしょうか。」 マルコによる福音書 12:14

すると律法学者はイエスに言った。「先生、おっしゃるとおりです。神は唯一であり、他に神はいません。」 マルコによる福音書 12:32

しかし、はっきり言っておきますが、エリヤの時代、天が三年六ヶ月閉ざされ、全地に大飢饉があったとき、イスラエルには多くのやもめがいました。 ルカによる福音書 4:25

しかし、はっきり言っておきます。ここに立っている者の中には、神の国を見るまでは死を味わわない者がいます。 ルカによる福音書 9:27

まことに、あなたがたに告げます。神は彼を、自分の所有するすべてのものの支配者とするでしょう。 ルカによる福音書 12:44

そして彼は言った、「まことにあなたがたに言いますが、この貧しいやもめは、彼ら全員よりも多く投げ入れたのです。」 ルカによる福音書 21:3

そして、およそ 1 時間ほど経ってから、彼は確信を持ってこう断言した。「確かにこの人も彼と一緒にいました。彼はガリラヤ人です。」 ルカによる福音書 22:59

そして、言葉は肉となって私たちの間に宿り、私たちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であり、恵みと真理に満ちていた。 律法はモーセによって与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストによってもたらされた。 ヨハネ 1: 14、17

しかし、真理を行う者は光のもとに来る。それは、自分の行いが神によってなされたものであることが明らかになるためである。 ヨハネによる福音書 3:21

しかし、真の礼拝者たちが霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。いや、今がその時である。父は、このように礼拝する者たちを求めておられるからである。 神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない。 ヨハネによる福音書 4: 23-24

あなたがたはヨハネのもとへ人を遣わし、彼は真実を証言した。 ヨハネによる福音書 5:33

すると、イエスが行った奇跡を見た人々は言った。「この方は確かに世に来るべき預言者だ。」 ヨハネによる福音書 6:14

そこで多くの人々はこの言葉を聞いて、「確かにこの方は預言者だ」と言った。 ヨハネによる福音書 7:40

そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にするでしょう。 しかし今、あなたがたは私を殺そうとしている。私は神から聞いた真実をあなたがたに告げた者だ。アブラハムはこのようなことはしなかった。 あなたがたは、あなたがたの父である悪魔の子であり、その父の欲望を行おうとしている。彼は初めから人殺しであり、真理のうちにとどまらなかった。彼のうちには真理がないからである。彼が嘘を語るとき、それは彼自身の本性から出たものである。彼は嘘つきであり、嘘の父だからである。 そして、私が真実を告げているのに、あなた方は私を信じない。 あなたがたの中で、誰が私に罪があると確信させられるのか。もし私が真実を語っているのなら、なぜ私を信じないのか。 ヨハネによる福音書 8 :32、40、44-46

イエスは彼に言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことはできない。」 ヨハネによる福音書 14:6

真理の御霊です。世は御霊を受け入れることができません。なぜなら、世は御霊を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたは御霊を知っています。なぜなら、御霊はあなたがたと共に住み、あなたがたのうちにおられるからです。 ヨハネによる福音書 14:17

しかし、父からあなたがたに遣わす慰め主、すなわち父から出る真理の霊が来ると、その方はわたしについて証しをするでしょう。 ヨハネによる福音書 15:26

しかし、わたしは真実をあなたがたに告げます。わたしが去っていくことは、あなたがたにとって益となるのです。わたしが去っていかなければ、慰め主はあなたがたのところに来ません。しかし、わたしが去れば、わたしは慰め主をあなたがたに送ります。 しかし、真理の御霊が来られるとき、その方はあなたがたをすべての真理へと導かれるでしょう。なぜなら、その方はご自身から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに知らせるからです。 ヨハネによる福音書 16: 7、13

あなたの真理によって彼らを聖別してください。あなたの言葉は真理です。 そして、彼らのために私は自らを聖なる者とする。それは、彼らもまた真理によって聖なる者とされるためである。 ヨハネによる福音書 17 :17、19

そこでピラトはイエスに言った。「あなたは王なのか。」イエスは答えた。「あなたが言うとおり、私は王です。私は真理を証しするために生まれ、このために世に来ました。真理に属する者は皆、私の声を聞きます。」 ピラトは彼に言った、「真理とは何か」。そして、こう言ってから、再びユダヤ人のところへ出て行き、彼らに言った、「私は彼に何の罪も見出さない」。 ヨハネによる福音書 18: 37-38

まことに、あなたが油を注がれたあなたの聖なる子イエスに対して、ヘロデとポンティオ･ピラトは異邦人とイスラエルの民と共に集まり、 使徒行伝 4:27

するとペテロは口を開いて言った。「確かに、神は人を分け隔てなさらない方だと分かりました。」 使徒行伝 10:34

しかし彼は言った、「私は狂ってなんかいません、高貴なるフェスタスよ。真実と冷静さの言葉を語ってください。」 使徒行伝 26:25

書簡

なぜなら、神の怒りは、不敬虔と不正を行うすべての人々に対して天から啓示されているからである。彼らは不正によって真理を抑えつけている。 神の真理を偽りに変え、創造主よりも被造物を崇拝し仕えた者たちよ。創造主は永遠に祝福される。アーメン。 ローマ人への手紙 1: 18、25

しかし、私たちは、このようなことをする者たちに対する神の裁きは、真理に基づいていると確信しています。 しかし、争いを好む者、真理に従わず、不正に従う者には、憤りと怒りが降りかかる。 ローマ人への手紙 2: 2、8

愚かな者を教え、幼子を教える者、律法の中に知識と真理の形を持つ者。 ローマ人への手紙 2:20

もし私の偽りによって神の真理がさらに増し加わり、神の栄光が増したのなら、なぜ私は罪人として裁かれるのでしょうか。 ローマ人への手紙 3:7

私はキリストにあって真実を語り、嘘をつきません。私の良心も聖霊によって私に証しをしています。 ローマ人への手紙 9:1

さて、私はこう言います。イエス･キリストは、神の真理を伝えるために割礼を受けた人々のしもべであり、先祖たちになされた約束を確証するためでした。 ローマ人への手紙 15:8

ですから、古いパン種、悪意と邪悪のパン種ではなく、誠実と真実の種なしパンで、この祭りを守りましょう。 コリント人への手紙第一 5:8

不正を喜ばず、真理を喜ぶ。 コリント人への手紙第一 13:6

こうして彼の心の秘密が明らかにされ、彼は顔を地に伏せて神を礼拝し、「神は確かにあなたのうちにおられる」と告げるであろう。 コリント人への手紙第一 14:25

しかし私たちは、隠された不正な行いを捨て、狡猾な行いをせず、神の言葉を偽って扱うこともありません。むしろ、真理を明らかにすることによって、神の御前で、すべての人の良心に自分自身を推薦しているのです。 コリント人への手紙第二 4:2

真理の言葉によって、神の力によって、右にも左にも義の武具を身に着けて、 コリント人への手紙第二 6:7

もし私があなた方について彼に何か自慢したとしても、私は恥じていません。なぜなら、私たちがあなた方にすべてを真実に基づいて話したように、私がテトスの前で自慢したことも真実であることが証明されたからです。 コリント人への手紙第二 7:14

キリストの真理が私の中にあるので、アカイア地方で私がこのことを誇示するのを、誰も止めることはできない。 コリント人への手紙第二 11:10

たとえ私が誇れることを望むとしても、愚か者にはならない。私は真実を語るからである。しかし今は控える。それは、だれも私を実際以上に高く評価したり、私の評判を疑ったりしないようにするためである。 コリント人への手紙第二 12:6

私たちは真理に逆らうことはできず、真理のために行動することしかできない。 コリント人への手紙第二 13:8

私たちが彼らに服従したのは、ほんの一時たりともありませんでした。それは、福音の真理があなた方の間にとどまるためです。 ガラテヤ人への手紙 2:5

しかし、彼らが福音の真理に従って正しく歩んでいないのを見て、私は皆の前でペテロに言った。「あなたがユダヤ人でありながら、ユダヤ人のようにではなく異邦人のように生活しているのに、なぜ異邦人にユダヤ人のように生活することを強要するのか。」 ガラテヤ人への手紙 2:14

愚かなガラテヤ人よ、誰があなたたちを惑わしたのか。あなたたちの目の前で、イエス▪キリストが十字架につけられた姿がはっきりと示されたのに、なぜ真理に従わないのか。 ガラテヤ人への手紙 3:1

真実を告げたからといって、私はあなた方の敵になったのでしょうか? ガラテヤ人への手紙 4:16

あなたがたはよく走った。真理に従わないように、誰があなたがたを妨げたのか。 ガラテヤ人への手紙 5:7

あなたがたもまた、真理の言葉、すなわち救いの福音を聞いて、キリストを信じ、約束の聖霊によって印を押されました。 エペソ人への手紙 1:13

しかし、愛をもって真理を語り、あらゆる点で頭であるキリストに倣って成長していきましょう。 もしあなたがたがイエスの教えを聞き、イエスの真理に従って教えられたのであれば、 だから、嘘を捨てて、それぞれ隣人に対して真実を語りなさい。私たちは互いに体の部分なのだから。 エペソ人への手紙 4: 15、21、25

（御霊の実とは、あらゆる善意、義、そして真実にあるからです。） エペソ人への手紙 5:9

それゆえ、真理を帯として腰に締め、義の胸当てを身に着けて立ちなさい。 エペソ人への手紙 6:14

それではどうでしょうか。いずれにせよ、偽りであれ真実であれ、あらゆる方法でキリストが宣べ伝えられています。そして私はそのことを喜び、これからも喜び続けるでしょう。フィリピ人への手紙 1:18

あなたがたのために天に蓄えられている希望のために。その希望については、あなたがたは以前、福音の真理の言葉の中で聞いていました。 それは全世界に及んでいるように、あなたがたにも到来し、実を結んでいます。あなたがたがそれを聞き、神の恵みを真に知った日から、それはあなたがたの中にも実を結んでいるのです。 コロサイ人への手紙 1: 5-6

このゆえに、私たちは絶えず神に感謝しています。なぜなら、あなたがたは私たちから聞いた神の言葉を受け入れたとき、それを人間の言葉としてではなく、真に神の言葉として受け入れたからです。そして、その神の言葉は、信じるあなたがたの中で力強く働いているのです。 テサロニケ人への手紙第一 2:13

そして、滅びる者たちの中には、あらゆる不正の欺きがある。それは、彼らが救われるために真理を愛さなかったからである。真理を信じず、不正を喜んだ者たちは皆、裁かれるためである。 しかし、主の愛する兄弟たちよ、私たちはいつもあなたがたのために神に感謝しなければなりません。なぜなら、神は初めから、御霊による聖化と真理への信仰を通して、あなたがたを救いへと選んでくださったからです。 テサロニケ人への第二の手紙 2 :10、12-13

神はすべての人が救われ、真理の知識に至ることを望んでおられる。 私はそのために説教者、使徒として任命され、（私はキリストにあって真実を語り、偽りを言わない）異邦人に信仰と真理を教える者となったのです。 テモテへの手紙第一 2: 4、7

しかし、もし私が長く留まるならば、それはあなたが神の家、すなわち生ける神の教会、真理の柱であり土台である教会において、どのように振る舞うべきかを知るためである。テモテへの手紙第一 3:15

結婚を禁じ、神が創造された食物を断つように命じる。それらは、信仰を持ち真理を知る者たちが感謝をもって受け取るべきものである。 テモテへの手紙第一 4:3

堕落した心を持ち、真理を欠いた者たちの、利得を敬虔さと考えるような、歪んだ議論から身を遠ざけなさい。 テモテへの手紙第一 6:5

神に認められる者、恥じることのない働き人、真理の言葉を正しく解き明かす者となるよう、努力しなさい。 テモテへの手紙第二 2:15

彼らは真理に関して誤りを犯し、復活は既に終わったと言って、ある人々の信仰を覆した。テモテへの手紙第二 2:18

柔和な心で反対する者たちを教え諭しなさい。もしかしたら、神は彼らに悔い改めを与え、真理を認めさせてくださるかもしれない。 テモテへの手紙第二 2:25

常に学び続けているが、決して真実の知識に到達することはできない。 ヤンネスとヤンブレスがモーセに抵抗したように、これらの者たちも真理に抵抗する。彼らは心が腐敗しており、信仰に関して失格者である。 テモテへの手紙第二 3: 7-8

そして彼らは真理から耳を背け、作り話に心を奪われるだろう。 テモテへの手紙第二 4:4

神のしもべであり、イエス･キリストの使徒であるパウロは、神に選ばれた人々の信仰と、敬虔にかなう真理の認識に従って、 ユダヤ人の作り話や、真実から逸脱した人間の戒律に耳を傾けてはならない。 テトス 1: 1、14

もし私たちが真理の知識を受けた後に故意に罪を犯すならば、もはや罪のためのいけにえは残されていません。 ヘブライ人への手紙 10:26

神はご自身の意志によって、真理の言葉をもって私たちを生み出されました。それは、私たちが神の被造物の中で、ある種の初穂となるためです。 ヤコブ 1:18

しかし、もしあなたがたの心に激しい嫉妬と争いがあるならば、誇ってはならない。また、真理に逆らって偽りを言ってはならない。 ヤコブ 3:14

兄弟たちよ、もしあなたがたの中に真理から迷い出た者がいて、誰かがその人を立ち返らせなさい。 ヤコブの手紙 5:19

あなたがたは、真理に従うことによって御霊によって魂を清め、偽りのない兄弟愛に至ったのですから、清い心で互いに熱心に愛し合いなさい。 ペテロの手紙第一 1:22

それゆえ、あなたがたはこれらのことを知っており、今の真理にしっかりと立っているにもかかわらず、わたしはこれらのことを常にあなたがたに思い出させることを怠らない。 ペテロ第二 1:12

そして、多くの人々が彼らの悪しき道に従うであろう。そのため、真理の道は悪く言われるであろう。 ペテロ第二 2:2

もし私たちが神と交わりを持っていると言いながら、闇の中を歩んでいるなら、私たちは嘘をついており、真理を行っていないのです。 もし私たちが罪を犯していないと言うなら、私たちは自分自身を欺いており、真理は私たちのうちにありません。 ヨハネの手紙一 1: 6、8

「私は彼を知っている」と言いながら、彼の戒めを守らない者は偽り者であり、真理はその人のうちにはない。 私があなた方に手紙を書いたのは、あなた方が真理を知らないからではなく、真理を知っていて、偽りは真理から出たものではないと知っているからである。しかし、あなたがたが彼から受けた油注ぎはあなたがたのうちにとどまっているので、あなたがたはだれからも教えられる必要はありません。その油注ぎがすべてのことをあなた

がたに教え、それは真実であって偽りではないからです。そして、その油注ぎがあなたがたに教えたとおりに、あなたがたは彼のうちにとどまるのです。ヨハネの手紙一 2: 4、21、27

愛する子供たちよ、言葉や口先だけで愛するのではなく、行いと真実をもって愛しなさい。そしてこれによって、私たちは自分が真理に属していることを知り、御前で心を安らかにすることができるのです。ヨハネの手紙一 3: 18-19

私たちは神に属する者です。神を知る者は私たちの言葉を聞き、神に属さない者は私たちの言葉を聞きません。これによって、真理の霊と誤りの霊を見分けることができます。ヨハネの手紙一 4:6

この方は水と血によって来られた方、すなわちイエス･キリストです。水だけではなく、水と血によって来られたのです。そして、証しをするのは御霊です。御霊は真理だからです。ヨハネの手紙一 5:6

長老から選ばれた婦人とその子供たちへ。私は真理において彼らを愛しています。私だけでなく、真理を知ったすべての人も彼らを愛しています。 真理のために。真理は私たちの内に宿り、永遠に私たちと共にあります。 父なる神と、父の御子である主イエス･キリストから、恵みと憐れみと平和が、真実と愛のうちに、あなたがたと共にありますように。あなたの子供たちが、私たちが父から受けた戒めに従って真理のうちに歩んでいるのを見て、私は大いに喜びました。ヨハネの手紙第二 1: 1-4

兄から、私が真実において愛する、愛するガイウスへ。 兄弟たちが来て、あなたの中にある真理、すなわちあなたが真理の中を歩んでいることを証ししたとき、私は大いに喜びました。 子供たちが真理の道を歩んでいると聞くことほど、私にとって大きな喜びはありません。 したがって、私たちは真理への協力者となるために、そのようなものを受け入れるべきである。 デメトリウスはすべての人から、そして真理そのものからも、良い評判を得ています。私たちもまた証言しており、あなた方は私たちの証言が真実であることを知っています。 ヨハネの手紙三 1:1 3-4,8,12

外典

三人目はこう書いた。「女性は最も強い。しかし、何よりも真実が勝利をもたらす。」 エズラ記第一 3:12

第一エズラ書 4: 13-41
それから、女性と真理について語っていた三人目の者（ゾロバベル）が話し始めた。 おお、男たちよ、偉大な王でも、大勢の人々でも、酒でも、優れているものはない。では、誰が彼らを支配し、彼らを統治するのか。彼らは女ではないか。 女性は王を生み、海陸を問わず、すべての民を統治してきた。 彼らもまた彼らの中から現れ、ぶどう畑を植えた者たちを養い育てた。そこからぶどう酒が生まれるのだ。 また、これらは男性のための衣服を作り、男性に栄光をもたらす。そして、女性なしには男性は存在し得ない。 そう、もし男たちが金銀やその他の良いものを集めたとしても、容姿端麗で美しい女を愛さないだろうか。

そして、それらすべてを捨て去って、人々は口を開けたまま彼女に釘付けになり、銀や金、あるいはどんなに立派なものよりも、彼女に対する欲望の方が強いのではないだろうか。男は自分を育ててくれた父親と故郷を離れ、妻に寄り添う。 彼は妻と人生を共にすることを拒み、父も母も祖国も忘れる。 このことから、女があなたたちを支配していることを知るべきである。あなたたちは労苦し、苦労し、すべてを女に与え、女に届けているのではないか。 そうだ、人は剣を取り、強盗や盗みを働くために、海や川を航海するために出かける。 そしてライオンを見て、暗闇の中を進み、盗み、略奪し、奪い取ると、それを愛する人のところに持って行く。 それゆえ、人は父や母よりも妻を愛する。 確かに、女に夢中になり、女のために召使いになった者は数多くいる。 また、多くの者が女性のために命を落とし、過ちを犯し、罪を犯してきた。 今もなお、私の言うことを信じないのか? 王は偉大な力を持っているではないか? どの地域も王に触れることを恐れているのではないか? しかし私は彼と王の側室アパメ、すなわち立派なバルタクスの娘が王の右手に座っているのを見た。 そして王の頭から王冠を取り、自分の頭に載せ、左手で王を殴った。 それにもかかわらず、王は口を開けたまま彼女をじっと見つめていた。彼女が彼を笑えば、彼も笑った。しかし、彼女が少しでも彼に不満を抱けば、王は彼女を再び自分の機嫌にしようと、お世辞を言って機嫌を取ろうとした。 おお、男たちよ、女性がこのように行動するのだから、女性が強くならないはずがあろうか? すると王と王子たちは互いに顔を見合わせた。 そこで王は真実を語り始めた。 おお、男たちよ、女は強くないのか? 大地は大きく、天は高く、太陽はその軌道において速い。太陽は天を一周し、一日で再びその軌道を元の場所に戻す。 これらのものを造られた方は偉大ではないか。それゆえ、真理は偉大であり、万物よりも強い。 全地は真理を叫び、天はそれを祝福する。すべての行いは真理に震え、それには不正なことは何もない。 ぶどう酒は悪であり、王は悪であり、女は悪であり、人の子らは皆悪であり、彼らの行いはすべて悪である。彼らには真実がなく、彼らはその不正によって滅びるであろう。 真理は永続し、常に強く、永遠に生き続け、勝利する。 彼女は人をもてなしたり、報酬を受け取ったりすることはなく、正しいことを行い、不正や悪事から遠ざかる。そして、すべての人は彼女の行いに倣って善行を行う。 彼女の裁きには不正は一切なく、彼女はあらゆる時代の力、王国、権威、そして威厳である。真理の神に祝福あれ。 そして彼は黙っていた。すると人々は皆大声で叫んで言った。「真理は偉大であり、万物の上に立つ。」

しかし、しるしが来るように、見よ、地上に住む者が大勢捕らえられ、真理の道が隠され、地は信仰のない地となる日が来るであろう。 第二エズラ書 5:1

信仰は栄え、腐敗は克服され、長らく実を結ばなかった真理が明らかにされるだろう。 第二エズラ書 6:28

しかし、裁きだけが残り、真実は揺るぎなく、信仰はますます強まるだろう。 放蕩は終わり、不貞は断ち切られ、正義が育まれ、真理が芽生えた。 第二エズラ書 7: 34、44

そのまなざしは深淵を干上がらせ、憤りは山々を溶かす。真実がそれを証言する。 あなたの民の罪を見過ごすのではなく、真にあなたに仕える者たちに目を向けてください。 まことに、生まれた者の中で悪事を働かない者は一人もおらず、信仰深い者の中にも悪事を働かない者は一人もいない。 第二エズラ書 8 :23、26、35

あなたは地を真実をもって裁かなかった。 第二エズラ書 11:41

私トビトは、生涯を通して真実と正義の道を歩み、アッシリアの地ニネベへ私と共に来た同胞や同胞たちに多くの施しを行いました。 トビト記 1:3

主よ、あなたは正義であり、あなたのすべての業とすべての道は慈しみと真実であり、あなたは永遠に真実かつ公正に裁かれます。 今やあなたの裁きは多く、真実です。私の罪と先祖の罪に応じて私を裁いてください。私たちはあなたの戒めを守らず、あなたの御前で真実に歩まなかったからです。 トビト記 3: 2、5

あなたが私の娘と結婚するのは当然のことですが、私はあなたに真実を告げましょう。 トビト記 7:10

こうして、すべての国々は主を賛美し、その民は神を告白し、主はその民を高められる。そして、真実と正義をもって主なる神を愛する者は皆喜び、兄弟たちに慈しみを示すであろう。 トビト記 14:7

そこで、アンモン人の全族長アキオルは言った。「どうか、わが主よ、あなたのしもべの口から一言お聞きください。私はあなたの近くに住み、山地に住むこの民について真実をあなたに告げましょう。あなたのしもべの口からは偽りは一切出ません。」 ユディト記 5:5

そして私は、あなたの軍の最高司令官であるホロフェルネスの前に進み出て、真実の言葉を告げようと思います。そして、彼が一人も兵士を失うことなく、山地全体を征服できる道を示しましょう。 ユディト記 10:13

彼に信頼を置く者は真理を理解するであろう。愛に忠実な者は彼と共にとどまるであろう。恵みと憐れみは彼の聖徒たちに与えられ、彼は選ばれた者たちを顧みられるからである。 ソロモンの知恵 3:9

それゆえ、私たちは真理の道から迷い出て、正義の光は私たちに輝かず、正義の太陽は私たちの上に昇らなかった。 ソロモンの知恵 5:6

知恵とは何か、そしてどのようにして生まれたのかを、私はあなた方に告げ、あなた方から秘密を隠したりはしない。むしろ、知恵が生まれた初めからそれを探し出し、知恵についての知識を明らかにし、真実を隠さずに伝える。 ソロモンの知恵 6:22

自分を高く上げてはならない。さもないと、あなたは倒れ、自分の魂に恥辱をもたらすことになる。そうすれば、神はあなたの秘密を暴き、会衆の真ん中であなたを打ち倒すだろう。なぜなら、あなたは真に主を畏れる心を持って来たのではなく、あなたの心は偽りに満ちているからだ。 シラ書 1:30

決して真実に反論してはならない。むしろ、自分の無知による誤りを恥じなさい。 死に至るまで真理を追求しよ。そうすれば主が汝のために戦ってくださる。 シラ書 4: 25、28

真実を吟味する前に非難してはならない。まず理解し、それから叱責せよ。 シラ書 11:7

鳥は同類に集まるように、真理は真理を実践する者に返ってくるだろう。 シラ書 27:9

汚れたものから何が清められようか。偽りのものから何が真実となりようか。 シラ書 34:4

そして何よりも、至高なる神に祈りなさい。神があなたの道を真理へと導いてくださるように。 シラ書 37:15

また、あなたが滞在する場所に関して、また神の真実と契約に関して盗みを働き、肘をついて食べ物に寄りかかり、与えることと受け取ることを軽蔑し、 シラ書 41:19

あなたは私たちにしてくださったすべてのことにおいて正しく、まことに、あなたのすべての行いは真実であり、あなたの道は正しく、あなたのすべての裁きは真実です。 あなたが私たちに、そして私たちの先祖の聖なる都エルサレムに下されたすべてのことにおいて、あなたは真実の裁きを行われました。なぜなら、あなたは私たちの罪のために、真実と裁きに従ってこれらすべてのことを私たちに下されたからです。 アザリヤの祈り 1: 4-5

そこで彼は彼らの真ん中に立って言った。「イスラエルの子らよ、あなたがたはそんなに愚かなのか。吟味もせず、真理も知らずに、イスラエルの娘を非難するとは。」 スザンナ 1:48

それゆえ、民衆は皆、彼らを恐れ、畏怖した。「彼らには真実も正義もない。彼らは自分たちが交わした契約と誓いを破ったのだ」と民衆は言った。 マカバイ記第一 7:18

主なる神は私たちをご覧になり、確かに私たちのうちに慰めを見いだされる。モーセが彼らの顔に証しした歌の中で、「主はしもべたちによって慰められる」と宣言したとおりである。 マカバイ記第二 7:6

エノク

地上のあらゆる悪を滅ぼし、あらゆる悪行を終わらせよ。そして、正義と真実の芽生えを起こせ。それは祝福となるであろう。正義と真実の行いは、永遠に真実と喜びのうちに植えられるであろう。エノク書 10:16

そしてその日には、天にある祝福の貯蔵庫を開き、それを地上に降ろして、人の子らの働きと労苦の上に注ぎ込むであろう。そして真理と平和は、世のすべての時代、すべての世代にわたって結びつくであろう。エノク書 11:1-2

すると、私と共にいた聖なる天使の一人であり、彼らの長であるウリエルが言った。「エノクよ、なぜあなたは尋ねるのか。なぜあなたは真理を熱望するのか。」 エノク書 21:5

そして彼は私に言った。「エノクよ、なぜあなたは木の香りについて私に尋ねるのか。なぜあなたは真実を知りたいのか。」 エノク書 25:1

そして今、私はこの奥義を知る。罪人たちは義の言葉を様々な方法で変え、歪め、悪事を語り、嘘をつき、大きな欺瞞を行い、自分たちの言葉について書物を書くであろう。しかし、彼らが私の言葉を彼らの言語で真実に書き記し、私の言葉から何一つ変えたり減らしたりせず、私が最初に証言したすべてのことを真実に書き記すならば、私は別の奥義を知るであろう。すなわち、書物が義人と賢者に与えられ、喜びと正義と多くの知恵の源となるであろう。そして彼らに書物が与えられ、彼らはそれを信じ、それを喜ぶであろう。そして、そこから正義のすべての道を学んだすべての義人は報われるであろう。エノク書 104:10-13

そして今、父よ、私はあなたに嘆願し、懇願するためにここに参りました。どうか私たちの父エノクのもとへ行き、彼から真理を学んでください。なぜなら、彼の住まいは天使たちの間にあるからです。エノク書 106:7

そして彼の父ラメクは恐れて私のところに逃げてきたが、彼が自分の子であるとは信じず、天の天使の姿に似ていると言った。見よ、私はあなたのところに来た。あなたが私に真実を知らせてくれるように。エノク書 106:12

今、あなたの息子ラメクに、生まれた者が確かにあなたの息子であることを告げ、その名をノアと名付けなさい。彼はあなたに残され、彼とその息子たちは、彼の時代に地上で成就するすべての罪とすべての不正のために地上に降りかかる滅びから救われるであろう。エノク書 106:18

さあ、わが子よ、行って、あなたの息子ラメクに、生まれたこの子は確かに彼の息子であり、これは偽りではないと伝えなさい。エノク書 107:2

ジャシャー

王は言った。「呪術師たちが言ったことを聞いたか？ さあ、真実を話せ。もし真実を語るならば、お前は無罪となる。」 王の怒りが激しく燃え上がったのを見て、テラは王に言った。「わが君、王よ、あなたは真実を聞きました。賢者たちが言ったことは正しいのです。」 王は言った。「どうしてこのようなことをしたのか。私の命令に背き、自分の子ではない子を私に与え、その子を俸

そして男は裁判官セラクに訴えを述べた。するとヘダドは「そうではない、事の次第はこうだ」と答えた。裁判官は旅人に「このヘダドという男は真実を語っている。彼は夢の正確な解釈で町々で名高いのだ」と言った。男は裁判官の言葉に叫び、「そうではありません、閣下。私が彼にロバの背についていた紐と外套を与えたのはその日のことでした。彼の家に保管するためです」と言った。二人は裁判官の前で論争し、一方は事の次第はこうだと主張し、もう一方はそれとは異なることを述べた。ヤシャルの書 18:34-35

裁判官はエリゼルに言った。「この男はあなたに真実を語っている。彼に報酬を与えなさい。これがこの地の慣習だからだ。」エリゼルは裁判官の言葉を聞いて、石を持ち上げ、裁判官を打った。石は裁判官の額に当たり、額から血が大量に流れ出た。エリゼルは言っ

た。「もしこれがあなたの地の慣習であるならば、私が彼に与えるべきだったものをこの男に与えなさい。これはあなたの決定であり、あなたが定めたことだ。」ヤシェル書 19:21

ヤコブの子らはヘブロンの王に答えて言った。「これらの王たちすべてに使者を遣わしてください。もしあなたが私たちに真実を語るなら、彼らを一人ずつ私たちの前に出させなさい。もし彼らが武装せずに私たちの前に来るなら、彼らが私たちとの平和を求めていることが分かるでしょう。ですから、私たちはあなたとの間に平和条約を結ぶためにあなたのところに来ました。ですから今、私たちと平和と真実の契約を結びなさい。私たちがあなたに干渉しなかったように、あなたも私たちに干渉しないという契約です。」ヤシェル書 40:43,46

ヨセフはユダに言った。「確かにあなたは真実を語り、今日、あなたの力に関する主張を証明しました。あなたを喜ばれるあなたの神が、あなたの繁栄を増し加えてくださいますように。しかし、あなたの兄弟たちの中で、なぜあなたはあの少年のことで私と争うのか、正直に教えてください。彼らは誰も、あの少年について私に一言も話していません。」ヨセフは答えて言った。「あなたは真実を語り、あなたの口には偽りはありません。ヘブライ人には力があり、彼らの神である主は彼らを大いに喜ばれると、私たちにも伝えられています。では、誰が彼らの前に立つことができるでしょうか。」ヤシャルの書 54:56,61

そして彼らはヨセフの前で全てを開示し、ヨセフが送ったものをそれぞれに与えた。ヨセフは彼らが真実を語ったことを知り、息子の報告を聞いて大いに喜んだ。ヤシャルの書 54:104

モーセは生涯、主なる神を畏れ、真心と魂を尽くして主の御前に歩んだ。彼は生涯、正しい道から逸れることなく、アブラハム、イサク、ヤコブが歩んだ道から右にも左にも逸れることはなかった。ヤシャルの書 73:37

祝祭

わたしは彼らの真ん中にわたしの聖所を建て、彼らと共に住み、わたしは彼らの神となり、彼らは真実と義においてわたしの民となる。ヨベル書 1:16

もし私が彼らに真実を告げれば、彼らは私を殺すだろう。彼らの魂は彼らに結びつき、彼らを崇拝し、敬うからだ。ヨベル書 12:7

そして、主があなたとの契約を新たにされますように。あなたが主にとって、世々限りなく主の嗣業の民となり、主があなたとあなたの子孫にとって、地の終わりまで真実と正義の神となりますように。ヨベル書 22:15

そして、逃れた者たちは、その悪行から正義の道に戻ることはなく、皆、欺瞞と富に身を傾け、隣人のものをすべて奪い、偉大な名を唱えるが、それは真実でも正義でもない。彼らは、その汚れと腐敗によって至聖所を汚すであろう。ヨベル書 23:21

そして振り向いて再び彼に口づけし、抱きしめ、大いに喜んだ。なぜなら、彼は自分の息子ヤコブの子らを確かに見たからである。ヨベル書 31:21

そして彼女は彼に言った。「わが子よ、私はこれまでずっと、あなたの中に悪しき行いを見たことがなく、ただ正しい行いだけを見てきた。しかし、わが子よ、真実を告げよう。私は今年死ぬ。今年を生き延びることはできない。夢の中で、自分の死ぬ日を見たのだ。155 歳を超えて生きることはないと。見よ、私は生きるべき人生のすべての日を終えたのだ。」 ヨベル書 35:6

聖書の失われた書物

しかし、もしあなたが私の言葉の真実、つまり高齢になっても頻繁に妊娠すること、不妊だった女性が驚くべきことに出産することがあるということを理性で納得しないのであれば、あなたの妻アンナはあなたに娘を産み、あなたは彼女にマリアという名前をつけるでしょう。 彼女は、あなたの誓いに従い、幼い頃から主に献身し、母の胎内にいる時から聖霊に満たされるでしょう。 彼女は汚れたものを食べたり飲んだりしてはならず、また、人々の間ではなく、主の神殿で過ごしなければならない。そうすれば、彼女は悪事の疑いや中傷を受けることがないであろう。（聖母マリアの誕生の福音書 2:9-11）

ヨセフは答えた。「わが神、主は生きておられる。私は彼女とは一切関係を持っていない。」しかし祭司は言った。「嘘をつくな。真実を述べよ。あなたは密かに彼女と結婚し、イスラエルの民にそれを明かさず、神の力強い御手の下に身を低くした。それはあなたの子孫が祝福されるためである。」ヨセフは黙っていた。原福音書 11:13-15

そこでイエスは再びしもべたちをザカリアのもとに遣わし、「あなたの息子はどこにいるのか、真実を話してください。あなたの命は私の手の中にあるのですから」と言わせた。（原福音書 16:12）

それから彼らはそれを口づけし、頭や目に当てて言った。「これは確かに疑いのない真実であり、火がそれを燃やし尽くすことができなかったのは実に驚くべきことである。」 1 幼年福音書 3:9

すると姉妹は二人とも母にこう言った。「確かに、私たちの兄は主イエス･キリストの助けと、マリアとその息子のことを私たちに教えてくれたあの娘の親切によって、元の姿に戻りました。」 1 イエス･キリストの幼年福音書 7:28

主イエスは彼らに答えた。「あなたがたは私を罪に問うことができないのだから、私を責めないで。真実を明らかにするであろう少年本人に尋ねてみよう。」 1 幼年福音書 19:8

するとエレアザル、アステリウス、アントニウス、ヤコブ、カラス、サムエル、イサク、ピネウス、クリスポス、アグリッパ、アンナス、ユダが答えた。「私たちは改宗者ではなく、ユダヤ人の子孫です。真実を語り、マリアの婚約の場にも居合わせました。」（ニコデモ福音書 2:12）

ピラトは言った、「それでは、あなたは王なのか」。イエスは答えた、「あなたが言うとおり、わたしは王です。わたしはこのために生まれ、このために世に来ました。真理を証しするために来たのです。真理に属する者は皆、わたしの声を聞きます」。ピラトはイエスに言った、「真理とは何か」。イエスは言った、「真理は天から来る」。ピラトは言った、「それゆえ、真理は地上にはない」。イエスはピラトに言った、「真理は、裁く力を持つとき、真理に導かれ、正しい裁きを行う人々の間にあると信じなさい」。ニコデモ福音書 3:10-14

ユダヤ人たちはこれを聞いて震え上がり、ニコデモに向かって歯ぎしりをして言った。「どうか彼の教えを真理として受け入れ、キリストと共にいてください！」ニコデモ福音書 5:10

しかし百人隊長は、イエスがこのように叫びながら息を引き取られるのを見て、神をあがめて言った。「まことに、この方は正しい人であった。」ニコデモ福音書 8:5

彼らは答えて言った。「私たちの先祖の主、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神は生きておられます。私たちはイエスが弟子たちと話しているのを聞き、またイエスが天に昇っていくのを見たので、そのとおり真実をあなた方に伝えました。」ニコデモ福音書 10:23

それからアンナスとカイアファは彼らを別々の場所に連れて行き、それぞれに尋問した。すると彼らは皆、真実を告白し、イエスを見たと言った。（ニコデモ福音書 12:8）

しかし、もし彼が人間としてこれほど力強いのであれば、私は真実をあなたに断言します。彼は神として全能であり、誰も彼の力に抵抗することはできません。（ニコデモ福音書 15:6）

そして、金と宝石で飾られた大きな書物が、神殿の四人の奉仕者によって運ばれてきたとき、ピラトは彼ら全員に言った。「この神殿を建てさせ、また建てるよう命じた、あなたたちの先祖の神にかけて誓う。真実を私に隠すな。」ニコデモ福音書 22:3

真理を歪める者たちの空虚な言葉に惑わされてはならない。彼らは、私が説いた福音の真理からあなた方を逸らそうとするからである。今、神が私の改宗者たちに、福音の真理を完全に理解し、慈悲深く、救いに伴う善行を行うようお恵みくださいますように。（パウロのラオデキヤ人への手紙 1:4-5）

このため、神は御子イエス･キリストを遣わされました。私はその御子を宣べ伝え、人々がその御子に希望を置くように教えています。なぜなら、その御子は、惑わされた世界に深い憐れみを抱かれた唯一の方であり、総督よ、その世界が裁かれることなく、信仰、神への畏れ、宗教の知識、真理への愛を持つようになるためです。（パウロとテクラの行伝 4:7）

見よ、あなたは心の奥底で真実を求め、隠された部分で私に知恵を知らせてくださる。8:29

このように、聖書に記されている偉大で優れた人々の謙遜と敬虔な信仰は、従順を通して、私たちだけでなく、私たちより前の世代をもより良い者とした。すなわち、畏敬と真理をもって神の聖なる御言葉を受け入れたすべての人々をも。9:1

確かに、もうしばらくすれば、彼の意志は突然成就するであろう。11:14

私たちの父アブラハムは、何によって祝福されたのでしょうか。それは、彼が信仰によって義と真実を成し遂げたからではないでしょうか。14:12

愛する皆さん、神の賜物はなんと祝福され、素晴らしいことでしょう。永遠の命！義の輝き！確信に満ちた真理！信頼に満ちた信仰！聖潔の節制！私たちは神の聖なる御心に従って行動し、真理の道を歩み、あらゆる不正と不義、あらゆる貪欲、争い、悪しき行い、欺瞞、陰口、中傷、神へのあらゆる憎しみ、高慢と自慢、虚栄心と野心を捨て去らなければなりません。（コリントの信徒への手紙一 17:1-2,8）

こうして、神は私たちにこれほど大きな憐れみを示されたのです。そして何よりも、生きている私たちはもはや死んだ神々にいけにえを捧げたり、彼らを崇拝したりするのではなく、神によって真理の父を知るに至ったのです。（コリントの信徒への手紙 2:8）

互いに真実を語り合うとき、二人は一つとなり、偽りなくして、二つの体に一つの魂が宿るのです。（コリントの信徒への手紙二 5:2）

彼がこのように語ったのは、真理の道を知っていながらなおも闇の道から離れない者は、当然の報いを受けるからである。バルナバの一般書簡 4:6

私たちに教えという賜物を植え付けてくださった方は、私がこれまで誰にもこれほど確かな真理を教えたことがないことをご存じです。しかし、私はあなたがたがそれにふさわしいと信じています。バルナバの一般書簡 8:14

この道を歩むのは、善人を迫害する者、真理を憎む者、偽りを愛する者、義の報いを知らず、善いものに固執しない者たちである。バルナバの一般書簡 15:3

実際、オネシモ自身も、あなたがたが神において良い秩序を保っていることを大いに称賛しています。あなたがたは皆、真理に従って生活し、あなたがたの間には異端が全くないからです。あなたがたは、真理をもって語りかけるイエス･キリスト以外には、誰の言葉にも耳を傾けません。イグナティオスのエフェソの信徒への手紙 2:5

それゆえ、光と真理の子らにふさわしく、分裂と偽りの教えから逃れ、羊飼いのいる所に羊のように従いなさい。イグナティウスのフィラデルフィア人への手紙 1:5

知らない者たちは彼を否定する。いや、むしろ彼によって否定されたのだ。彼らは真理よりも死を擁護する者たちだからである。預言もモーセの律法も、今日に至るまで福音そのものも、そして私たち一人ひとりの苦しみも、彼を説得することはできなかった。イグナティオスのスミルナ人への手紙 2:8

あなたが真理を深く愛しておられることを知っていたので、私はこれらの短い手紙であなたを励ましました。イグナティオスからポリュカルポスへの手紙 3:5

それゆえ、心の腰に帯を締め、畏れと真実をもって主にお仕えしなさい。空虚な言葉や多くの人の誤りを捨て去り、私たちの主イエス・キリストを死者の中からよみがえらせ、栄光とご自身の右の座を与えられた方を信じなさい。ポリュカルポスのフィリピ人への手紙 1:6

私自身も、私のような者も、祝福され名高いパウロの知恵に匹敵することはできません。パウロは、当時生きていた人々と共にいて、真理の言葉を正確かつ健全に教え、あなたがたのもとを去った後、あなたがたに手紙を書きました。（ポリュカルポスのフィリピ人への手紙 2:2）

また、執事たちは、キリストにあって神のしもべとして、人のしもべとしてではなく、神の御前で非難されるところのない者でなければなりません。偽りの告発者ではなく、二枚舌ではなく、金銭を愛する者ではなく、あらゆることにおいて節度があり、思いやり深く、慎重であり、すべての人に仕えられた主の真理に従って歩む者でなければなりません。ポリュカルポスのフィリピ人への手紙 2:10

ですから、これらのことにしっかりと立ち、主の模範に従いなさい。信仰に堅く立ち、揺るぎなく、兄弟愛を愛し、互いに愛し合い、真理において共に歩み、互いに親切で柔和であり、だれをも軽んじてはならない。ポリュカルポスのフィリピ人への手紙 3:10

さて、私たちの主イエス・キリストの父なる神、そして永遠の大祭司である神の子、イエス・キリストご自身が、あなたがたを信仰と真理、柔和と寛容、忍耐と寛容、そして貞潔のうちに築き上げてくださいますように。（ポリュカルポスのフィリピ人への手紙 4:10）

私は彼女に尋ねました。「奥様、なぜ塔は水の上に建てられているのですか？」彼女は答えました。「以前にも申し上げたとおり、あなたは建物について熱心に調査する賢明な方です。ですから、あなたは真実を見つけるでしょう。」 ヘルマスの牧者の書（幻視）3:41

あなたが塔の周りに置かれているのを見た、建物には組み込まれていない他の多くの石について言えば、それらは粗い石であり、真理を知っていながら真理にとどまらず、聖徒たちに加わらなかった者たちであり、それゆえ無益な者たちである。 1 ヘルマスの牧者の書（幻視）3:64

彼らは御言葉を聞き、主の御名によって洗礼を受けようとした者たちである。しかし、真理が要求する大いなる聖さを思い、身を引いて、再び邪悪な欲望に従って歩むようになった。 ヘルマスの牧者の書（幻視）3:76

さらに彼は私に言った、「真実を愛しなさい。そして、あなたの口から出る言葉はすべて真実でなければならない。」 2 ヘルマスの牧者の書（戒律）3:1

彼は私に尋ねた。「なぜだ？」私は答えた。「先生、私はこれまで一度も真実を語ったことがなく、常に偽りのうちに生き、すべての人に嘘を真実として主張してきました。そして誰も私に反論せず、皆が私の言葉を信じました。このようにしてきたのに、どうして生

きていけるでしょうか？」すると彼は私に言った。「あなたはよく考え、正しい。あなたは神のしもべとして、真実のうちに歩むべきであり、悪い良心を真実の霊と結びつけてはならず、神の聖なる真実の霊を悲しませてはならない。」私は彼に答えた。「先生、私はこれまでこれほど熱心にこれらのことに耳を傾けたことはありませんでした。」彼は答えた。「今、あなたはそれを聞いている。今後は、仕事のために以前に偽って言ったことさえも、あなたの現在の真実によって信用されるように気をつけなさい。将来、あなたが真実を語るならば、それらのことさえも信用されるだろう。」そうすることによって、あなたは命を得ることができるでしょう。2 ヘルマスの牧者の書（戒律）3:6-9

善行を怠ってはならない。むしろ善行を行いなさい。彼が言ったように、あなたが救われるために行わなければならない善行の徳とは何か、よく聞きなさい。第一に信仰、主への畏れ、慈愛、調和、公平、真実、忍耐、貞潔である。2 ヘルマスの牧者の書（戒律）8:8

「先生、私はとても愚かで、これらのことが理解できません。どうして苦しめられ、それでいて救われるのか、私には理解できません」と私は言いました。「聞きなさい、そして理解しなさい」と彼は言いました。「真理を求めず、神の威厳について尋ねず、ただ信じるだけの者は、異教徒の事柄に関わっているのだ。」2 ヘルマスの牧者の書（戒律）10:3

それゆえ、主への信仰が強く、真理を身にまとった者は、そのような霊に結びつかず、それらから離れる。しかし、疑念を抱き、異邦人のようにしばしば悔い改める者は、それらに相談し、偶像を拝んで大きな罪を積み重ねる。それゆえ、そのような者は皆、あらゆる機会にそれらに尋ね、偶像を拝み、愚かで、真理に欠けている。 ヘルマスの牧者の書（戒め）10:7-8

しかし、主を畏れ、神に関する真理を探求し、すべての思いを主に向けている者たちは、自分たちに語られることをすべて理解し、すぐにそれを悟る。なぜなら、彼らは主を畏れているからである。2 ヘルマスの牧者の書（戒め）10:13

そこで私は言いました。「先生、善なるその願いにどう仕えればよいか、教えていただけますか？」すると彼は言いました。「聞きなさい。神を畏れ、神に信頼し、真理と正義を愛し、善を行いなさい。」2 ヘルマスの牧者の書（戒律）12:10

すると天使は私に言った、「この羊飼いが見えるか？」私は答えた、「はい、見えます。」すると天使は私に言った、「これは喜びと快楽の使者である。それゆえ、彼は神のしもべたちの心を堕落させ、真理から遠ざけ、多くの快楽で彼らを喜ばせ、彼らは滅びる。」3 ヘルマスの羊飼いの書（類比）6:10

したがって、これらの人々は真理から離れてしまっただけであり、悔い改めによってまだ希望が残されている。このような堕落には、まだ再生の希望が残されている。しかし、死んだ者たちは、完全に永遠に消え去ってしまったのである。3 ヘルマスの牧者の書（類比）6:15

杖の半分を枯れ、残りの半分を青々とした者たちは、確かに忠実であったが、同時に富と善きものに満ちていた者たちである。そして、外にいる異教徒の間で名声を得ようと望み、

それによって大きな傲慢に陥り、高尚な事柄を目指し、真理を捨て去ったのである。3 ヘルマスの牧者の書（比喩）8:70

第一は信仰、第二は禁欲、第三は力、第四は忍耐と呼ばれ、これらに次ぐものは、素朴さ、無垢さ、貞潔さ、陽気さ、真実、理解、調和、慈愛である。3 ヘルマスの牧者の書（類比）9:142

彼らの山が不毛で実を結ばないように、そのような人々は確かにキリスト教徒という名を持っているが、信仰に欠け、真理の実を結んでいない。3 ヘルマスの牧者の書（比喩）9:182

そして、彼らの中には教師として、純粋かつ誠実に説教し教え、少しも邪悪な欲望に屈することなく、常に正義と真実のうちに歩んできた者たちもいる。3 ヘルマスの牧者の書（比喩）9:216

また、あの丸くて輝く石についても聞きなさい。これらはすべてこの白い山から採れたものです。しかし、彼らが丸く見えるのは、彼らの富が真理から少し彼らを遠ざけ、彼らの目を眩ませたからです。しかし、彼らは決して主から離れることはなく、彼らの口から悪しき言葉が出たこともありませんでした。ただ、義と徳と真理だけを語っていました。そこで主は彼らの心を見て、彼らが真理を飾るようにと命じられました。主は彼らが善行を続け、富を削り取るように命じられました。主は彼らを完全に奪い去ることは望まず、残されたもので何らかの善を行い、神のために生きるようにと望まれたのです。彼らもまた善い性質の持ち主だからです。3 ヘルマスの牧者の書（比喩）9:255-258

そして私は大声で言った、「主よ、私は罪を犯しました。真実をもってすべてを裁かれるあなたを、私は座って裁いたのです。」 ピラトからヘロデへの手紙

私が最後の手紙であなたに詳しく述べたイエス･キリストに、ついに民衆の意志によって厳しい罰が下されました。私は気が進まず、不安を感じていましたが。実のところ、これほど善良で厳格な人物は、かつて存在したことも、これからも存在しないでしょう。しかし民衆は驚くべき努力をし、すべての書記官、長老、そして指導者たちが、この真理の使者を十字架につけることに同意しました。彼ら自身の預言者たちは、我々のシビュラのように、反対の助言をしていたにもかかわらずです。そして彼が絞首刑に処せられた時、超自然的な兆候が現れ、哲学者たちの判断では、全世界を破滅の危機に陥れたのです。ポンティウス･ピラトからティベリウス･カエサルへ

カエサルがこう言ってキリストの名を唱えると、神々の群れは皆一斉に倒れ、カエサルが元老院議員たちと共に座っていた場所で塵のようになった。カエサルのそばに立っていた人々は皆、その言葉と神々の崩壊に震え上がり、恐れに襲われ、何が起こったのか不思議に思いながら、それぞれ自分の家に帰っていった。カエサルはピラトを厳重に拘束し、イエスについての真実を聞き出そうとした。翌日、カエサルが元老院議員たちと共にカピトリウムに座った時、彼は再びピラトを尋問することにした。カエサルは言った。「最も不敬な者よ、真実を言いなさい。あなたがイエスに対して行った不敬な行いによって、ここでもあなたの悪行が明らかになり、神々が滅びたのだ。」 ピラトの裁判と有罪判決

忘れられたエデンの書

神は再びエバに言われた。「園で彼があなたに約束したことは何だったのか。『あなたがたがその木の実を食べるとき、目が開かれ、善悪を知る者となり、神のようになるだろう』と。しかし、見よ、彼はあなたがたの体を火で焼き、園の味の代わりに火の味を味わわせ、火の燃える様子と、その悪と、それがあなたがたに及ぼす力を見せた。あなたがたの目は彼があなたがたから奪った善を見、確かに彼はあなたがたの目を開いた。あなたがたは私と共にいた園を見、またサタンからあなたがたに降りかかった悪も見た。しかし、神性に関しては、彼はあなたがたに与えることができず、あなたがたへの約束を果たすこともできない。それどころか、彼はあなたがたと、あなたがたの後に来る子孫に対して苦々しい思いを抱いている。」そして神は彼らから御言葉を撤回された。アダムとエバの書 46:6-8

彼らは私の戒めと軛を拒み、神を恐れず、無益な種が芽生えた。彼らは私にひれ伏そうとせず、虚しい神々にひれ伏し始め、私の唯一性を否定し、全地を偽り、罪、忌まわしい淫行、すなわち互いに交わる淫らな行い、その他あらゆる種類の不浄な悪行で満たした。それらは語るだけでも忌まわしい。『エノクの秘密』34:1

もしある人が、言葉巧みに他人に善良な人物であるかのように見せかけながら、心の中では悪を秘めているならば、その裏切りは他人に見抜かれ、偽りは誰の目にも明らかであるゆえに、その人自身も罪に問われるのではないだろうか。『エノクの秘密』46:3

主は言われた。「わたしには誓いも不正もなく、真実だけがある。もし人の中に真実がないなら、『はい、はい』と誓うか、『いいえ、いいえ』と誓うかだ。」 エノクの秘密 49:2-3

傲慢で雄弁な者はすべて主にとって憎むべき存在であり、偽りの言葉、虚偽をまとった言葉はすべて、死の剣の刃で切り裂かれ、火の中に投げ込まれ、永遠に燃え続けるであろう。エノクの秘密 63:4

わが子らよ、忍耐強く、柔和に、正直に、挑発に、悲しみに、信仰と真実に、約束を信じて、病に、虐待に、傷に、誘惑に、裸に、欠乏にあって、互いに愛し合いながら歩みなさい。そうすれば、あなたがたはこの苦難の時代から抜け出し、永遠の時を相続する者となるであろう。エノクの秘密 66:7

主の慈しみは、真実に主を愛する者たちの上にあり、主は慈しみをもってそのしもべたちを覚えておられる。主は真実に主を愛する者たちに忠実であられる。神よ、真実にあなたに感謝すること以外に、誰が強いだろうか。真実の言葉で私の舌と唇を守ってください。怒りと理不尽な憤りを私から遠ざけてください。混じり合った民の中にいた契約の子らは、悪において彼らを凌駕した。エルサレムの中で慈しみと真実を行う者は、彼らの間には一人もいなかった。ソロモンの詩篇からの抜粋

主は私の頭上に冠のようにあり、私は主から離れることはない。 彼らは私に真実の冠を編んでくれた。そしてそれは私の中にあなたの枝を芽吹かせた。ソロモンの頌歌 1:1-2

真理の言葉を聞き、いと高き方の知識を受け入れよ。そして、真実に私を知る者たちよ、私の知識を理解せよ。ソロモンの頌歌 8:9,13

真理は永遠の冠である。それを頭に戴く者は幸いである。それは非常に高価な宝石であり、その冠のために戦争が起こった。ソロモンの頌歌 9:8-9

そして、主が私を開かれたことが私の救いとなり、私は主の道、すなわち真理の道を、主の平安のうちに走りました。初めから終わりまで、私は主の知識を得ました。そして、主が私を立てられた真理の岩の上に、私は堅く立つことができました。ソロモンの歌 11:3-5

主は私に真実の言葉を満たしてくださった。私がそれを語ることができるように。水の流れのように、私の口からは真実が流れ出し、私の唇は主の実を告げ知らせる。ソロモンの頌歌 12:1-2

言葉の住まいは人であり、その真理は愛である。それによってすべてを理解し、主をその真理において知る者は幸いである。ハレルヤ。ソロモンの頌歌 12:11-12

あなたの真理の詩篇を私に教えてください。そうすれば、私はあなたの中で実を結ぶことができます。そして、あなたの聖霊の竪琴を私に開いてください。そうすれば、私はそのすべての音色であなたを賛美することができます、主よ。ソロモンの歌 14:7-8

彼によって私は目を得て、彼の聖なる日を見た。耳は私のものとなり、私は彼の真理を聞いた。ソロモンの頌歌 15:3-4

そして真理の思いが私を導き、私はそれを追い求め、迷うことはなかった。私を見た者は皆驚き、私は彼らから異邦人のように見なされた。私を知り、育て上げた方は、その完全さにおいて至高なる方である。そして主は慈しみによって私を栄光に輝かせ、私の思いを主の真理の高みへと高めてくださった。ソロモンの頌歌 17:5-7

光り輝くものが闇に打ち負かされてはならない。また、真実が偽りから逃げ去ってはならない。ソロモンの頌歌 18:6

彼らは至高なる神が彼らに吹き込まれた霊感によって真実を語った。その御名に賛美と大きな美しさあれ。ハレルヤ。ソロモンの頌歌 18:19

あなたは主の慈しみと恵みを受け、主の聖なる御名を讃え、真に栄えるであろう。主の御名に賛美と栄光あれ。ハレルヤ。ソロモンの歌 20:9

そしてその頭には、至高の父から啓示された真理の子が現れた。そして彼はすべてを相続し、所有した。そして多くの人々の思いは無に帰した。ソロモンの頌歌 23:16-17

主は真理を持たなかった者たちの思いを滅ぼされた。心の中で高慢になった者たちは知恵に欠けていたので、真理が彼らと共になかったために、彼らは拒絶されたのである。ソロモンの歌 24:8-9

そして私は真理によって力強くなり、あなたの義によって聖なる者となった。そして私の敵は皆私を恐れた。私は主の御名によって称賛される者となり、主の柔和さによって義とされた。主の安息はとこしえに続く。ハレルヤ。ソロモンの頌歌 25:10-11

深淵は主の御前に溶け去り、闇は主の御出現によって滅ぼされた。迷いは主の御手によって迷い滅び、愚かさは歩むべき道を見失い、主の真理によって沈められた。ソロモンの頌歌 31:1-2

祝福された者には、心からの喜びがあり、彼らの内に宿る方からの光がある。そして、自ら生まれた真理からの言葉がある。なぜなら、彼は至高者の聖なる力によって強められ、永遠に揺るぎないからである。ハレルヤ。ソロモンの頌歌 32:1-2

真理の道においてあなたがたを賢くし、あなたがたが滅びることも、滅び去ることもないように。わたしに聞き従い、贖われよ。わたしは神の恵みをあなたがたに告げ知らせる。わたしの力によって、あなたがたは贖われ、祝福されるであろう。ソロモンの頌歌 33:8-9

私は戦車に乗るかのように真理の光へと昇っていった。真理は私を連れて行き、導いてくれた。そして私を穴や谷を越えて運び、岩や波から私を守ってくれた。そしてそれは私にとって救いの港となり、私を不滅の命の腕に抱かせてくれた。真理は私と共に行き、私を休ませ、私がさまようことを許さなかった。なぜなら真理は私と共に歩んだからである。そして私は何の危険も冒さなかった。なぜなら私は真理に従ったからである。なぜなら誤りは真理から逃げ去り、真理に出会うことはないからである。しかし真理は正しい道を進み、私が知らなかったことはすべて、真理は私に明らかにしてくれた。誤りの毒と、彼らが甘美だと考えている死の災いすべてを。そして私は、堕落した花嫁が飾られているとき、破壊の破壊者を見た。そして堕落させ、また堕落した花婿も見た。そして私は真理に尋ねた。「これらは誰ですか？」そして主は私に言われた、「これが欺く者であり、惑わす者である。彼らは愛する者と花嫁において同じであり、全世界を惑わし、堕落させる。彼らは多くの人を宴会に招き、酔わせるぶどう酒を飲ませ、彼らの知恵と知識を奪い、彼らを無知にする。そして彼らを捨て去る。すると彼らは狂人のように堕落させながら歩き回る。彼らは心がなく、それを求めないからだ。私は欺く者の手に落ちないように賢くされた。真理が私と共にあったので、私は自分自身を喜んだ。私は堅く立てられ、生き、贖われた。私の土台は主の御手の上に据えられた。主が私を堅く立てられたからである。」ソロモンの頌歌 38:1-17

主の子らは皆、主を賛美し、主の信仰の真理を集めるであろう。真理の父は私を覚えておられた。初めから私を所有しておられた方。御名の真理によって、永遠に魂を救うため。主を愛する者たちから新しい歌が湧き上がる。ハレルヤ。ソロモンの歌 41:1,9,17

これらの真理を注意深く解明し、明快に説明した上で、たとえ人が悪事を企てようと考えることさえ、ましてや実際に実行に移すことなど考えもしないならば、必ず見破られることを彼は示した。なぜなら、神の力が律法全体に遍在していることを彼は明らかにしたからである。（アリステアスの手紙 6:8）

私たちの法律は、無作為に、あるいは思いつきで制定されたのではなく、真理と正しい理性の指針に基づいて制定されたのである。（アリステアスの手紙 6:51）

王は彼を称賛し、それから別の者に、どのようにして真実を守り通せるのかと尋ねた。彼はその問いに答えて言った。「嘘はすべての人、とりわけ王に大きな恥辱をもたらすことを認識することによってです。王は望むことは何でもできる力を持っているのに、なぜ嘘に頼る必要があるでしょうか。それに加えて、王よ、神は常に真実を愛する方であることを心に留めておかなければなりません。」（アリステアスの手紙 8:6-7）

王は、この男もよく答えたと言い、十番目の者に尋ねた。「知恵の実とは何か？」すると彼は答えた。「人が自ら悪を行っていないことを自覚し、真実のうちに生きることです。偉大なる王よ、あなたが敬虔に国を治めるならば、これらのことから最大の喜びと魂の堅固さ、そして神への強い信仰があなたにもたらされるのです。」アリステアスの手紙 9:42-43

そして、ユダヤ人の慣習に従い、彼らは海で手を洗い、神に祈り、それから取り組んでいる特定の聖句の朗読と翻訳に専念した。そこで私は彼らに、「なぜ祈る前に手を洗うのですか？」と尋ねた。すると彼らは、それは自分たちが悪事を働いていないことのしるしだからだと説明した（あらゆる行為は手によって行われるからである）。彼らは高貴で聖なるやり方で、すべてを正義と真実の象徴とみなしているからである。アリステアスの手紙 11:17-18

そして夢の中で、彼は無益な好奇心から聖なる真理を一般の人々に伝えようとしていたこと、そしてそれを止めれば健康を取り戻すだろうと啓示された。アリステアスの手紙 11:32

しかし、判断力、すなわち自制心こそがそれらすべてを支配するものであり、それを通して、理性は真に情欲に対する権威を主張するのである。マカバイ記第四書 1:17

しかし、真実について空虚な空論を唱え、私にさえ反抗して自らの罰を招くようなことをするならば、それはあなたにとってさらに大きな愚行となるだろう。マカバイ記第四書 2 章 40 節

しかし、高潔で気高いエレアザルは、まるで夢の中で苦しめられているかのように、全く動揺しなかった。老人は目を天にしっかりと向けたまま、鞭で肉体が引き裂かれ、血まみれになり、脇腹が傷だらけになるまで耐え忍んだ。そして、体がもはや痛みに耐えられなくなり地面に倒れた時でさえ、彼は理性を揺るぎなく保ち続けた。マカバイ記第 4 章 3 節 4 節

確かに、私たちが老齢まで真理に忠実に生き、その生き方の評判を合法的な形で守り続けてきたのに、今になって態度を変え、若者たちに不敬虔の手本を示し、彼らに不浄な食物を食べるよう促すとしたら、それは理に反することである。（マカバイ記第 4 章 3:11）

私は徳によってもたらされる喜びによって苦しみに耐えているが、あなたは不敬虔さを誇りながら苦しみの中にいる。おお、最も忌まわしい暴君よ、あなたは神の怒りの刑罰から逃れることはできない。マカバイ記第 4 章 5:26

ファラオはこの言葉を聞くと、ひどく困惑し、激怒して彼に言った。「おい、人よ！真実を話せ。お前が本当は何者なのか教えてくれ。」すると彼は真実を答えた。「私は書記官ハイカルです。センナケリブ王の枢密顧問官の中で最も偉大な者であり、彼の宰相であり、王国の統治者であり、大法官です。」ファラオは彼に言った。「お前の言ったことは真実だ。だが、我々はハイカルについて、センナケリブ王が彼を殺したと聞いている。だが、お前は生きているようだな。」アヒカルの物語 5:53-55

こうして、真理から心を曇らせ、神の律法を理解せず、先祖の教えに従わない若者は皆滅びる。私も若い頃、同じ道を辿った。さあ、わが子らよ、真理を愛しなさい。そうすれば、真理はあなたたちを守るだろう。父ルベンの言葉を聞きなさい。ルベンの遺言 1:32-33

天の神にかけて、あなたがたに命じる。それぞれ隣人に対して真実を行い、それぞれ兄弟に対して愛を抱くように。ルベンの遺言 2:27

すると、白い衣を着た七人の男が私にこう言った。「立ち上がって、祭司の衣、義の冠、悟りの胸当て、真理の衣、信仰の衣、頭のターバン、預言のエフォドを身に着けなさい。」レビの遺訓 3:14

主は、その子らに主の威厳を永遠に真実に授けられるであろう。（レビの遺言 5:23）

さて、わが子らよ、あなたがたに言う。ぶどう酒に酔ってはならない。ぶどう酒は心を真理から遠ざけ、情欲をかき立て、目を惑わすからである。（ユダの遺訓 3:10）

それゆえ、わが子らよ、知れ。二つの霊が人に仕えている。真理の霊と欺瞞の霊である。そして、その真ん中には、心の理解の霊があり、それは人が望むところへ向かうことができる。真理の行いと欺瞞の行いは人の心に刻まれており、主はそれらをすべて知っておられる。人の行いは隠すことができない。なぜなら、それらは主の御前に、心そのものに書き記されているからである。真理の霊はすべてのことを証言し、すべてのことを告発する。罪人は自分の心によって焼き尽くされ、裁き主の前に顔を上げることができない。ユダの遺訓 3:46-50

あなたがたは、真に神の子となり、神の戒めを第一に、そして最後に守るであろう。ユダの遺訓 4:25

私は敬虔な行いをし、生涯真実を守り通した。イッサカルの遺言 2:13

私は心の中で、そして生涯を通して、真実と公正な行いは善であり、神に喜ばれるものであることを証明してきました。そして、嘘と怒りは悪であり、それらは人にあらゆる悪を教えるからです。（ダニエル書 1 章 3 節）

さて、わが子らよ、見よ、わたしは死につつある。そして、あなたがたに真実を告げよう。偽りと怒りの霊から身を守り、真実と忍耐を愛さなければ、あなたがたは滅びるであろう。怒りは盲目であり、人の顔を真実をもって見ることを許さないからである。（ダニエル書 1:10-11）

隣人に対して真実を語りなさい。そうすれば、怒りや混乱に陥ることはなく、平和の神を持つことによって平和のうちにとどまり、いかなる戦いもあなたたちを襲うことはない。ダニエル書 2 章 2 節

もはやエルサレムは荒廃せず、イスラエルも捕囚となることはない。主はその中におられ、人々の間に住まわれるからである。イスラエルの聖なる方が謙遜と貧しさのうちにエルサレムを治められる。主を信じる者は、人々の間で真実をもって治めるであろう。ダニエル書 2 章 13 節

それゆえ、わが子らよ、あらゆる悪事から身を守り、怒りと偽りを捨て去り、真実と忍耐を愛しなさい。（ダニエル書 2 章 21 節）

わが子らよ、今、真理の言葉に耳を傾け、義を行い、いと高き方の律法をすべて守りなさい。憎しみの霊によって迷い出てはならない。憎しみは人のすべての行いにおいて悪だからである。人が何をしようとも、憎む者はそれを忌み嫌う。たとえ人が主の律法を行っても、主をほめたたえない。たとえ人が主を畏れ、義を喜ぶとしても、主を愛さない。彼は真理を蔑み、繁栄する者を妬み、悪口を歓迎し、傲慢を愛する。憎しみが彼の魂を盲目にするからである。私もその時、ヨセフを見たとき、まさにそうであった。（ガドの遺訓 1:15-17）

それゆえ、憎しみは悪である。なぜなら、それは常に嘘と結びつき、真実に反する言葉を語るからである。そして、小さなことを大きなこととし、光を闇に変え、甘いものを苦いものとし、中傷を教え、怒りを燃え上がらせ、戦争と暴力とあらゆる貪欲をかき立てる。それは心を悪と悪魔の毒で満たす。ガドの遺言 1:25

真理が嘘であるとか、正義が不正であるなどと言うことはできない。なぜなら、すべての真理は光の下にあり、すべてのものが神の下にあるからである。それゆえ、私はこれらのことをすべて自分の生涯で証明し、主の真理から迷い出ることなく、いと高き方の戒めを探求し、全力を尽くして、ひたむきに善に向かって歩んだ。それゆえ、わが子らよ、あなた方も主の戒めに注意を払い、ひたむきに真理に従いなさい。アシェルの遺言 1:29-31

私は人生で嫉妬と死を経験したが、迷うことなく、主の真理にとどまり続けた。ヨセフの遺言 1:4

善良な心は、祝福と呪い、侮辱と称賛、悲しみと喜び、静穏と混乱、偽善と真実、貧しさと富といった二つの舌を持つのではなく、すべての人に対して、ただ一つの、汚れのない純粋な性質を持つ。ベニヤミンの遺言 1:37

それゆえ、あなたがたはそれぞれ隣人に対して誠実であり、主の律法と戒めを守りなさい。（ベニヤミンの遺言 2:13）